

平成28年7月10日
今週のベストショット



青松園A 新町パイレーツ 対 新町ウインズ戦
四回裏、ダメ押しの二者連続HRを放ったウインズ桐島選手のホームイン！
(写真：奈多クラブ 木伏陽一郎)

青松園A 序盤は互角の展開も終盤ウインズが押し切り、今季3勝目！

新町パイレーツ (1勝4敗) 100000 1 牟田●、八坂一桐島

新町ウインズ (3勝2敗) 02020X 4 藤田○ー今林

HR：藤田、桐島(新町ウ) 3BH：大久保(新町ウ) 盗塁：桐島、弥栄(新町パ)

一回表和白新町パイレーツは四球とWPで1点を挙げると、このまま新町ウインズのエース藤田投手を攻略していきそうな流れだったが、やはり簡単には崩れない藤田投手。回を重ねるごとにギアをあげていき剛速球がうなる。結局失点は初回の1点のみ。ウインズは桐島選手の本塁打、大久保選手の三塁打などで計4点を挙げ、今季3勝目を挙げる。(記事、写真：奈多クラブ 木伏陽一郎)



不安定な立ち上がりもギアが上がり、球が走る藤田投手。



初回ワイルドピッチで1点を挙げるパイレーツ！



パイレーツ先発の八坂投手。



ウインズの軸 今林孝智選手。



二回裏、ウインズ九番大久保選手ランニングHRなるか？



残念一步手前でタッチアウト。



パイレーツ代打大濱選手。見事にライト前ヒット！



ヒットのお手本を示す大濱選手。



軽快な守備を見せるパイレーツ浜田選手。



見事なランニングホームラン！ウインズ桐島選手。



今日も1本！ウインズ四番の藤田選手。



試合終了後の反省会。次の勝利につなげてほしい。

青松園B 奈多サンデーズ、若い砂場投手を支えるチーム力で接戦を制す！

奈多サンデーズ（3勝1敗） 1 1 0 0 0 1 3 砂場○—大川

三苦三球会 （1勝5敗） 0 0 1 0 0 0 1 吉留●—藤澤

盗塁：堺太一（三球会）

初回奈多サンデーズは、一番川上選手が四球で出塁すると、二番大川選手のスラップ打法が投ゴロながらもきっちり走者を送る形となり一死二塁。三番江口選手が右前打で二三塁とチャンスを広げると続く四番野田選手の内野安打で幸先よく1点を先制する。対する三球会は一番藤澤選手が四球、二番堺達也選手は三振に倒れるも三番大津選手も四球を選び一死二塁とするが、続く四番石山選手、五番堺太一選手が連続三振に倒れ無得点に終わる。ピンチを切り抜けたサンデーズは二回、前の回のピンチを連続三振に打ち取った砂場選手が相手失策で出塁すると、続く七番鳥羽選手の犠打、八番石井選手の右前打で一死一三塁のチャンスを作ると、九番木下選手が右前打を放ち、初回同様そつのない攻撃で貴重な追加点を奪う。序盤で1点でも返しておきたい三球界は二回裏、左フライと三塁ゴロで簡単に二死となるがここで相手の砂場投手の制球が突如乱れだし八番船橋、九番渡辺、一番藤澤選手が連続四球となり二死ながら満塁。砂場投手の続く二番堺達也選手に対する投球がWPとなり三塁走者の船橋選手は迷いなく本塁に突っ込むが不運にもバックネットから強く跳ね返り本塁タッチアウトでこの回も無得点に終わる。ここまで2-0でまだまだ追加点が欲しいサンデーズの三回表の攻撃は、相手中堅手の失策と四球で無死一二塁のチャンス。ここで強硬策を選択したサンデーズの六番砂場選手の三塁線の強いゴロを相手三塁手が横っ飛びで捕球し一死二三塁。さらに七番鳥羽選手の痛烈なライナー性の当たりを遊撃手が驚異のジャンプ力で捕球すると飛びだしていた走者も刺され、併殺となりこのチャンスは無得点におわる。逆に守備で盛り上がった三球界はその裏、この回も制球に苦しむ砂場投手から四死球と犠打などで一死満塁のチャンスを作ると六番濱口選手の犠飛で1点を返す。なおも得点のチャンスだったがここは砂場投手が粘りの投球をみせ、1点止まり。追加点の欲しいサンデーズに逆転したい三球会だったが四回、五回とお互いに見せ場なく無得点。時間的に最終回と思われた六回表のサンデーズは、先頭打者三振の後、代打の大ベテラン富安選手がきっちり四球を選び一死一塁とする。続く木下選手は遊ゴロに倒れるが一番川上選手が四球を選び二死一二塁の場面で二塁走者となった木下選手が相手のスキを突く好走塁で三塁を陥れるとこれが相手のミスを誘い、一気に本塁に生還。欲しかった追加点をもぎとる。二点差とされた三球会は四回から立ち直りを見せる砂場投手を前に三振、内野ゴロで簡単に二死としてしまうが続く九番渡辺選手が四球で出塁するも一番藤澤選手が右飛をあげてしまいゲームセット。サンデーズはこの日不動の主軸打者を二人欠き、人数的にもギリギリだった。三球界はそこになんとかつけこみたかったが再三にわたり相手に与えられたチャンスにあと一本が出ず、悔やまれる敗戦となった。

（記事・写真：奈多フェニックス 実延新伍）



制球に苦しんだ奈多サンデーズ砂場投手。



三球会エースの吉留投手。



サンデーズ四番野田選手の先制タイムリー内野安打。



思い切りよくスイングする三球会四番右山選手。



二回表、サンデーズ木下選手の貴重なタイムリー。



攻守の要、三球会 藤澤選手。



走・攻・守でリーグトップレベル！サンデーズ川上選手。



鋭いスイングの三球会三番大津選手



何度もレフト方向へ大きな当たりを打つ大川選手。



三回裏、唯一の打点をあげる三球会六番濱口選手。

奈多グラウンド 打線爆発、ホーネットスがコールド勝ち！

三苫ホーネットス（5勝1敗） 2 0 2 1 0 8 1 3 矢野○-広木

塩浜ジャガーズ（3勝2敗） 0 0 0 0 0 0 0 荒木●、紺野、道喜-橋村

HR：松尾（三苫ホ） 3BH：矢野（三苫ホ） 2BH：野中（塩浜ジ） 正内2、矢野、今田、松尾（三苫ホ）

盗塁：山崎、稲葉（三苫ホ）

雨上がりの奈多グラウンド、先発はジャガーズ荒木投手、ホーネットス矢野投手で試合は始まった。一回表、先攻のホーネットスは一番塚(恭)選手が綺麗にセンター前にヒットを放つと二番稲葉選手がバンドヒットで出塁し二塁とする。一死後、四番矢野選手が中越え三塁打を打ちホーネットスが2点を先制。その裏、ジャガーズは球が定まらない矢野投手から一番紺野選手が四球で出塁すると二番稲富選手が死球で出塁し無死一二塁のチャンスとなる。しかし、あとが続かず得点することが出来なかった。二回裏もジャガーズは六番野中選手がライト線へ二塁打を打ち得点のチャンスを作るが決定打が出ず、勢いに乗ることが出来なかった。三回表、ホーネットスは五番今田選手がショート悪送球で出塁する。ここで六番松尾選手が打席に入り、左中間を鋭く破る2ランを打ち2点を追加する。四回表もホーネットスは三番正内選手、四番矢野選手の連続二塁打で更に1点を追加する。ジャガーズはここまで矢野投手の投球の前に1本が出ない。五回表、ジャガーズは荒木投手からそれまでショートを守っていた紺野選手をマウンドに送る。しかし、紺野投手はホーネットス打線に4四死球を与えてしまい、ライトを守っていた道喜選手がマウンドに上がる。道喜投手は緩急をつけてホーネットス打線に立ち向かうがホーネットス打線は見事に跳ね返し稲葉選手、正内選手、今田選手の長短打でこの回一挙に8点を入れ、ホーネットスのコールド勝ちとなった。チャンスを逃さず大量得点に繋げたホーネットス打線も見事だったが、ジャガーズ打線を1安打8奪三振零封した矢野投手の投球は素晴らしかった。（記事：三友クラブ 駄原孝一郎、写真：大坪和則、八尋豊）



ホーネットス先発の矢野投手。



ジャガーズ先発の荒木投手。



一回表、前の走者を追い抜く勢いでホームインする稲葉選手。



二回表、大きな左飛を好捕したジャガーズ石内選手。



二回裏、右線への二塁打を放つジャガーズ野中選手。



三回表、左中間を破る二塁打を放つホーネッツ松尾選手。



四回表、左線への二塁打を放ったホーネッツ正内選手。



五回表、ライト前ヒットを放つホーネッツ吉留選手。



五回表、サードゴロをさばくジャガーズ稲富選手。



五回表、緩急をつけたピッチングのジャガーズ道喜選手。



五回裏、何とかして出塁したいジャガーズ橋村選手。



試合後、語り合う両監督。

雁レクA 引き分けの価値は？

雁ノ巣ライナーズ（3勝1敗1分）	1 0 2 0 0 0	3	有馬△ー山崎
ブルーマーリンズ（1勝2敗1分）	0 0 0 3 0 0	3	林△ー横山（健）

3BH：桑野（ブルー） **2BH**：中口（雁ノ巣）

前回2年ぶりの勝利を挙げたブルーマーリンズの連勝に向けた士気は高かったが、初回先頭の雁ノ巣ライナーズ明瀬旭選手をショートゴロに打ち取るもファーストが送球を簡単にエラーで無死二塁にしてしまうと、続く二番明瀬航選手の右飛で三進したところに三塁悪送球で、簡単に1失点。いつもの展開かと思われた。追いつきたいブルーマーリンズは、二回裏五番糸井選手の中前、六番横山（祥）選手の内野安打、七番横山（健）選手のDBで一死満塁とするも後続がライナーズ有馬投手に打ち取られ無得点。その直後の三回表ライナーズは、一死から一番明瀬旭選手がDB、二番明瀬航選手が中前打で一三塁として三番中口選手の右線のあたりをまづいプレーで二塁打にしてしまうと、四番宇野選手の犠飛で計2失点。その裏一番からの好打順も三者凡退で完全にライナーズに主導権が渡ったと思われた。しかし四回裏、ブルーマーリンズ先頭の四番桑野選手が右越え三塁打を放つと、一死から六番横山（祥）選手が中前タイムリー、連続PBで三進すると息子横山（健）選手も中前タイムリー。代打谷山選手が送りバントを決めて九番末松選手が二死からセーフティバントを決めるとこの間に3点目。続く一番井上（広）選手も左前打で続いたが、同点止まり。勢いに乗ったブルーマーリンズは連勝目指して最終六回表を抑え負けがなくなると、一死から代打川口選手が四球、谷山選手のバントが内野安打となり二塁。ここで再び九番末松選手がバントで二死二三塁。先ほど安打を放った一番井上（広）選手に全てを託すも、最後はサードゴロで惜しくも3-3の引き分けで終了。

この試合、再三にわたる守備の乱れにも顔色一つ変えず黙々と投げ続けたブルーマーリンズ林投手の熱投には感心させられた。加えて強肩横山（健）捕手が盗塁を未然に封じるなど若手の選手を含めたセンターラインはしっかりしている印象。ただ、バッテリーの次に重要なファースト、外野で一番難しいライトの守備が悪く失点している。この二箇所を鍛えることでブルーマーリンズの今シーズンは変わると思われた。

ライナーズ岩崎監督は「負けに等しい引き分け」とこの試合を称していたが、正にその通り。どこかに心の隙があったのでは？対してブルーマーリンズ小柳監督は非常に悔しがっていた。決して勝利に匹敵する価値ある引き分けとは思っていなかったようだ。この貪欲さで次も頑張ってもらいたい。

（記事：レッドサンデーズ 八島久徳、写真：前田篤史、塚本浩二）



粘りのピッチング、ブルーマーリンズ林投手。



初回、先頭打者をまずい守備で簡単に出塁を許し失点。



安定した立ち上がりのライナーズ有馬投手。



痛烈なピッチャー返しでグラブを飛ばされながらも好捕。



ライト線のあたりを二塁打にしてしまい、失点。



右側の守備を固めなければ勝利は厳しい。



四回裏、右越え三塁打のブルーマーリンズ四番桑野選手。



中前タイムリーを放ったブルーマーリンズ六番横山(祥)選手。



親父に続けと連続タイムリーの横山（健）選手。



代打谷山選手がキッチリ送りバント。



九番末松選手の二死からのバントに守備が乱され同点に。



一番井上（広）選手も左前打で続くも同点止まり。



反撃を試みるライナーズ打線を必死に抑えるブルーマーリンズ。

第9週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第9週、7月10日は4試合が行われました。

青松園Aの和白新町パイレーツ対新町ウインズ戦は、初回無安打で先制したパイレーツだったが散発の4安打に抑えられる。逆転して迎えた四回裏にウインズ四番藤田選手と五番桐島司選手の連続HRで1-4として連敗を2で止めた。

青松園Bの奈多サンデーズ対三苦三球会戦は、初回と二回表に2安打ずつを集めて2点をリードしたサンデーズ。10四死球のサンデーズ砂場投手に対し1安打1点しか取れなかった三球会は逆に的を絞れなかったか？3-1で勝利したサンデーズだが、守っていた野手は相当疲れたようだ。サンデーズは石井選手と代打の富安選手の二人の大ベテランが出塁率10割といい仕事。まだまだ活躍を期待したい。

奈多グラウンドの三苦ホーネッツ対塩浜ジャガーズ戦は、初回から4安打を集めたホーネッツが計13安打で15得点。投げてはホーネッツ矢野投手が前の試合で16安打14得点を挙げたジャガーズ打線を1安打完封。ホーネッツは13安打中7安打が長打とその打力を見せつけた。

雁レクAの雁ノ巣ライナーズ対ブルーマーリンズ戦は、四回まで3点をリードしたライナーズの快勝かと思われたが、四回裏に5安打を集めたブルーマーリンズが同点に追いつくと、押せ押せムードで連勝を狙う。最終回一死一二塁の場面で1点取ればサヨナラの場面。九番末松選手はバントで前の打席ヒットを放った一番井上（広）選手に繋げたが、ここは1点取ればサヨナラだったので、チームの勢いからしても打って一気にサヨナラを狙ってもよかったのでは？と思った。

福岡では博多祇園山笠が終わり、夏本番に突入していきます。

高校野球も夏の予選が始まりましたね。

この夏の熱戦を、しっかり戦っていけるだけの準備を各チーム宜しくお願いします。